

- 1 まちのブランド化
- 2 雇用の創出
- 3 子育て支援
- 4 移住・定住の促進

- 5 公共交通
- 6 教育
- 7 防災

重点取組 7つの視点



第1の視点

まちのブランド化

本市には西日本最多となる25のゴルフ場があります。本市の一大産業であり、多くの雇用を生み出しています。

「三木と言えばゴルフ」、「ゴルフと言えば三木」と、

広く世間に認知されるよう、「ゴルフのまち推進課」を設置したうえで事業を推進し、「ゴルフのまち三木」の一層のブランド化を図ります。



- ツアー大会への登竜門となるレディースゴルフトーナメントの開催
- 全国高等学校・中学校ゴルフ選手権春季大会「春高ゴルフ」を三木市で恒久的に開催することで、ジュニアゴルファーの聖地化をめざす。また、多くの選手や関係者の訪問・宿泊に対応するため、三木総合防災公園内に整備される宿泊施設を活用
- 経済産業省や県との連携による、地域経済牽引事業を活用した、ゴルフを核としたサービス産業への波及、ゴルフツーリズムによる体験観光の創出



第2の視点

雇用の創出

持続可能な活力ある地域づくりを進める本市にとって、雇用の創出は喫緊の課題です。

中小企業や起業家への支援を強化するとともに、

新たな雇用の創出に向け、ひょうご情報公園都市の次期工区整備を、県・市協調により進めます。



ひょうご情報公園都市

- ひょうご情報公園都市次期工区整備については、本市の熱意を受けた県が令和2年度から整備の具体化に向けた適地調査に着手することとなった。市では、山陽自動車道三木東ICから直接アクセスできる専用道路の予備設計とボーリング調査を実施
- 現行の経営相談、企業訪問に加え、事業計画や事業承継に関するセミナー開催や専門家派遣などを三木商工会議所との連携により実施
- 空き家を使った起業に対し、改修費を補助
- 時間や場所にとらわれない働き方ができる「クラウドソーシング」を推進し、多世代が活躍できる環境を創出



令和2年度 三木市施政方針

令和2年2月25日、第355回三木市議会定例会で、

仲田一彦市長から施政方針が発表されました。

その中から、7つの視点の重点取組などについてお伝えします。

問(市企画政策課)

施政方針の全文は、市ホームページからご覧いただけます。



▲ホームページはこちら

本市を取り巻く状況

4月からの総合計画施行に合わせ、総合計画の前期に当たる今後5年間の本市の成長戦略を、「第2期三木市創生計画人口ビジョン・総合戦略」にまとめました。

総合計画の理念を踏まえ、策定過程で浮かび上がってきた人口減少対策となる具体的な施策を、第2期創生計画には盛り込んでいます。

本市の人口は、高齢化率が33%（令和元年12月末）と高く、とりわけ出生率に大きく関わる20～39歳までの若年女性の比率が、人口のピークであった平成9年当時の25.6%から、平成30年は17.8%まで低下しており、少子高齢化に拍車がかかっている状況です。なお、外国人市民の方は、平成27年度以降増加傾向にあります。

三木創生 ネクストステージ

これらを踏まえ、転出が転入を上回る社会減を改善するため、他の地域から人を呼び込む積極的施策と、世帯収入の改善を図っていく施策などが、今後の三木創生には欠かせない要素となっています。

本市では、総合計画や第2期創生計画に掲げる2060年に5万人を維持するという人口ビジョンの実現に向け、地域資源や民間活力を活用し、人口減少対策に重点を置いた施策を戦略的に展開します。市長就任から3年目となった本年は1期4年の折り返し、令和という新しい時代に入っで最初の予算編成であり、まさにステップアップ、「三木創生ネクストステージ」のときであります。

次に掲げる7つの視点を重点取組とし、しっかりと三木創生を推進・展開してまいります。